

土壁造りの貯蔵庫で熟成  
貯蔵ミカン出荷

表紙写真は、佐那河内支所みかん部会の大窪将文さん（46）です。佐那河内村は、温州みかんの産地として百年以上の歴史を誇り、同部会では、各生産者がみかんの貯蔵を行っています。



現在、部会では糖度や貯蔵性が高い品種の「十万」が全体の9割を占め、他にも「大津」「縄手」等を栽培しています。みかんは収穫後、2〜3カ月間、土壁造りの貯蔵庫で熟成させます。品質を保持するため、貯蔵庫は室温3〜5度、湿度約85%で管理します。

今年の傾向としては、果実がやや大玉傾向。要因としては、6月中の高気温から生理落花が多かったこと、また10月、11月中も気温が高かったことから果実の肥大が著しかったことが挙げられます。大窪さんは、「樹齢40年程の木も多く、毎年、計画的に改植をおこなっている。10年後、20年後の人手や自分の体力、貯蔵庫の体積を考慮した計画栽培の難しさを痛感している。今後は、作業軽減が図れる新しい貯蔵体制に向け、コンテナ貯蔵なども検討したい。」と話しました。

今年度、同部会は生産者70軒が栽培を行い、総出荷量は320トンを予測しています。「大津」「縄手」は2月上旬に、「十万」は2月中旬〜3月中旬に、主に関東方面へ出荷します。



渭東ねぎ  
根の生育調査

1月16日、渭東ねぎ部会は、株式会社生科研の協力のもと、土の中の根の生育調査を行いました。青ねぎ栽培において、理想の根の長さは、30センチとされています。調査は2日間にわたり、生産者8軒の圃場で行われました。収穫前のねぎの周りの土を約40センチ掘り下げ、断面から見た根の広がり、深さ、根量などを調べました。さらに同じ圃場、品種で生育が良好な場所・不良な場所、またネットハウス・露地栽培での比較も行い、環境による違いも調査しました。

今後は調査結果をもとに、環境、品種、定植時期によって、根の状態がどのように違っているのか、また、地上部と地下部の相関性が、どのように繋がっているのかをデータ化し、生産者へ報告する予定です。

東部営農経済センター岡田準斗指導員は、「従来、部会で行っている土壌分析・土の硬度調査に加え、今回の調査によって、さらに結果に基づいた適切な指導や推進が可能になる。データの結果をしっかり活用したい。」と話しました。



災害時の燃料供給  
県と協定締結

1月15日、当JAの子会社であるジェイエイ徳島市燃料サービス株式会社は、徳島県と「災害時におけるガソリン等燃料の供給に関する協定」を県内のJAグループと共に締結しました。この協定は、大規模災害の発生時に、ガソリンなどの燃料が不足した場合、県からの要請に応じ、JAのガソリンスタンドや営業所から避難所や病院、緊急車両へ燃料供給の斡旋を行うものです。

ジェイエイ徳島市燃料サービス株式会社の養手良知代表取締役は、「地域の安心・安全を守るため、災害が発生した時には、関係機関と協力し、必要な燃料を迅速・安定的に供給できる体制を構築したい。」と話しました。

後藤田知事は「災害に強い地域社会を目指し、今後、さらなる連携を図り、ライフラインの維持のため実際の訓練等を実現させ、課題など情報共有をすすめてい。」と話しました。



【写真は、県庁で協定書に署名した、左から、JAエネルギーとくしま株式会社 齋藤廣行代表取締役社長、ジェイエイ徳島市燃料サービス株式会社（当JA子会社）養手良知代表取締役、後藤田正純知事、JA徳島県 橋本浩組合長、JA東とくしまサービス 桂洋志代表取締役社長】

びざん

冬の味覚と相性◎

橙（ダイダイ）  
搾汁始まる

農産工場では、1月20日から橙（ダイダイ）の搾汁作業が行われています。橙は、実が何年も木に付いたまま落ちないことから、子孫繁栄を象徴する縁起物として正月飾りに用いられます。



集荷された果実は、選別・洗浄され、搾汁機に通される前に従業員の手作業によって包丁で1つ1つ表皮とワタを切り落します。搾汁後はろ過され、一升瓶（1.8ℓ）へ充填されます。1本あたり約8<sup>㍉</sup>の果実を要し、今年度は集荷が約5トあり一升瓶約600本の生産を予定しています。

近年は縁起物の需要減少により、生産が年々減少していることに加え、今年はシカの被害が目立って多くなっていることから生産の維持が求られています。橙の特徴は、隔年欠果性が少なく毎年安定した収穫量があることや、ゆず・すだちに多いトゲが橙にはなく収穫作業がしやすいことが強みです。

井河勝淑工場長は、「ほんのりとした甘みに強い酸味が特徴で、なまこ酢、ふく料理には欠かせないもの。生産維持が今後の課題だ。」と話しました。



たくさん集められた橙の果実。



工場では搾汁される柑橘類で唯一、手作業で表皮、ワタの切り取り作業を要します。

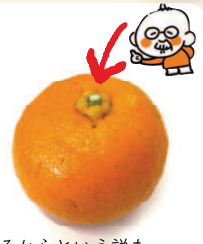


ろ過され、種などを取り除きます。

◎豆知識◎

名前の由来は、「橙」＝「代々」（繁栄する）という縁起の語呂。

他にも、ヘタの形が、台を二つ重ねたような形になっているからという説も。



JA・キセキセールスキングコンテスト2024  
不動産機サービスセンター宮地職員・谷口職員が入賞

令和6年度 JA・キセキセールスキングコンテストで不動産機サービスセンター宮地伸夫職員がキングオブサイヤー賞、谷口哲二職員がウィンターキング賞を受賞しました。このコンテストは、農機の普及推進を図るため、JAグループとキセキグループの協同推進により、実販実績の確保と実販量の向上を目的とし毎年、実施されています。

1月16日、本所で伊勢専務から2名に表彰状が贈られました。県下で年間最多販売ポイントを獲得した宮地職員は「常にお客様の目線に立ち、困ったときに頼っていただける関係性を維持するとともに信頼し続けていただけるように努めたい。」と話しました。12月から3月期の最多販売ポイントを獲得した谷口職員は、「引き続き、お客様の要望に寄り添うことを大切に、お客様がお困りのとき自身の知識を活かせるよう努力を継続したい。」と話しました。



【写真は、㊦不動産機サービスセンター谷口哲二職員、㊧宮地伸夫職員、㊨伊勢専務】

とくしま京浜流通会が産地を訪問



1月23日、24日のとくしま京浜流通会の幹事が徳島県内の産地を訪問しました。これは、視察や意見交換を行うことによって、産地の状況と優位性や販売活動を理解していただき県産農産物の有利販売に繋げることを目的とし開催されました。

当JA管内では、23日に本所へ訪問・意見交換会が行われ、24日には、北部営農経済センターでの施設（製氷機・ラッピングマシーンなど）の視察、プロッコーの圃場の見学が行われました。

県へ表敬訪問  
産官協働での取り組みを強く要望



1月10日、伊勢専務、岩井常務、簗手常務、小角参事、井河部長は徳島県 知事戦略公室 吉岡健次公室長、中藤直孝農林水産部長を表敬訪問しました。

JAからは、特に農産物の適正な価格形成に向けた仕組みづくりを産官協働で取り組んでいくことを強く働きかけました。県からは、ともに手を取り合い地域農業の維持・発展に尽力するとの言葉をいただきました。

# ウィンター キャンペーン

抽選会を開催！



令和6年12月2日から令和7年1月31日の期間中、スーパー定期預金にお申し込みをいただいた組合員の皆様を対象に抽選で県産精米5kg、「すだちセット」（すだち果汁やぼん酢の4本セット）などが当たるキャンペーンの抽選会が2月3日に開催されました。厳正なる抽選の結果、抽選番号の下1桁が「3」の方々が当選されました。

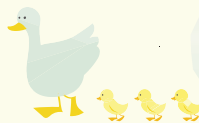
当選者の発表は、当選者の方への連絡をもって代えさせていただきます。尚、当選者の方は、期間内に商品を受け渡しいたしますので、ご成約支所までお越しください。

（※受け取り期間：令和7年3月10日まで）

また、皆様にお喜びいただける企画を計画しておりますので、是非ご期待ください。



▲抽選を行う伊勢専務



## 当時の想いを込めた曲「いちご大福」が好評

J A 徳島市北井上事務所管内の笹田和義さん（77）が作詞を手掛けた曲「いちご大福」の英語バージョンが追加され、2月14日にCDが発売されます。

徳島県を拠点に活動する音楽ユニット「ゆりり」が作曲を手掛け、笹田さんがJ A 在籍中の思い出を歌詞に込めた曲「いちご大福」は、昨年1月に発売されました。

笹田さんは、昭和57年より予冷集出荷場（現・北部営農経済センター）で場長を務め、管内の様々な作物の販売を担当しました。中でも販売に苦労したのが、1月初旬に最も味わい豊かになるにも関わらず、毎年クリスマス需要を過ぎると市場価格が低迷するいちごでした。試行錯誤する中、笹田さんはその時期、完熟したいちごの流通が少なかった北海道に目を向け、いちごをジェット機で輸送し「さっぽろ雪まつり」での販売を試みました。

挑戦は大成功を遂げ、地元洋菓子店からオファーを受け、バレンタインとホワイトデーの必需品としてチョコレートでいちごを包んだ贈答用お菓子が誕生しました。昭和59年頃には、徳島産いちごが札幌で「いちご大福」に加工されることとなり、いちごの販路を広げ、需要拡大にも繋げました。笹田さんは「この取り組みが徳島県のフライト農業のトップランナーになった。」と話します。

曲には、活動に共に尽力した生産者・関係者に聴いていただき、当時は懐かしみ、さらなるいちごの生産意欲に繋げてほしいという気持ちが込められています。

現在は、国内のみならず海外でも「いちご大福」を販売する店舗も増えており、笹田さんは「日本の食文化が海外に根付きだしている。この歌を通して、日本の食文化や農作物の応援ができれば非常に嬉しい。」と笑顔で話しました。



## 健康 百科

### 「高齢者の高血圧について 3」

徳島往診クリニック 吉田大介

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。今月は前回お話しした諸々の評価によって得られる高齢者に特異的な病態に関する情報が、高血圧治療にどのように関係するかお話ししていきます。

#### 1) 認知症・認知機能障害

中年期の高血圧治療が高齢になってからの認知症発症を予防できることは関係づけられていますが、高齢になってからの治療が認知症発症の予防となるかは結論づけられていません。MCIを含む認知機能障害の段階では降圧治療が認知機能悪化を抑制することを示唆する報告が複数ありますが、エビデンスレベルは低く結論できないといえます。一方で、血圧を下げすぎた場合のコントロールは認知機能低下と関連する可能性が高いとされており注意が必要です。いずれにしても原則としては高齢者ではその認知機能に関わらず降圧薬治療を行うこととされています。

#### 2) フレイル

フレイルとは、日本老年医学会が2014年に提唱した概念で、「Frailty（虚弱）」の日本語訳です。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指しますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まらずにすむ可能性があります。フレイルであっても基本的には降圧薬治療が推奨されています。

#### 3) 頻尿

第1の注意点は、頻尿を助長する降圧薬を使用していた場合に他の降圧薬への変更の可否を検討することが挙げられます。Ca拮抗薬は最も使用頻度の高い降圧薬の一つですが、中でもアムロジピン（商品名：アムロジン、ノルバスク）は降圧薬

としてよく処方されます。その意外な副作用として頻尿、特に夜間頻尿が言われているのはご存じでしょうか。その他にはGERD（胃食道逆流症（Gastroesophageal reflux disease: GERD）とは、胃酸や食べ物が食道に逆流することで内視鏡で分かるような食道粘膜障害と胸焼けなどの煩わしい症状のいずれかもしくは両方が起きる病気）を悪化させるという副作用もあります。もともとGERDがある人はカルシウム拮抗薬で増悪し、アムロジピンで多く（61.3%）、ジルチアゼム（商品名：ヘルベッサ）で少ない（12.5%）と言われています。血管平滑筋を緩めることで血圧を下げるカルシウム拮抗薬が、下部食道括約筋まで緩めてしまうことによりです。また、むくみも意外な副作用の一つです。特にアムロジピンに多く、長期投与でリスクは上昇します。対応策としては、浮腫が起りにくいとされるシルニジピン（商品名：アテレック）に変更するか、別の種類の降圧薬に変更するなどです。

第2の注意点は、降圧剤として利尿剤が投与されている場合です。高齢の方は「利尿」という言葉に敏感で、外出先でトイレに間に合わなかったら等の心配から自己判断で中止されることもままあります。低用量のサイアザイド系利尿薬（フルイトラン・ナトリックス等）は、主に高齢者や食塩感受性高血圧、治療抵抗性高血圧などに対する降圧薬として一般に汎用されています。サイアザイド系利尿薬では頻尿を増悪させる可能性は低く、「塩分を尿に出すことで血圧を下げる薬で、尿量はそれほど増えない」と言えます。ただ、利尿剤による急激なNaの喪失は、反応性に腎臓でのレニンの産生を促し、結果としてアンジオテンシンIIによる血管の収縮をもたらします。このため、降圧薬として利尿剤を使用する場合は、ACE阻害薬あるいはARBやβ遮断薬との併用が推奨されます。他にサイアザイド系利尿薬の欠点としては、用量増加による累積効果が期待できず、腎機能障害では効果が発揮されにくいことが挙げられます。ループ系利尿薬のラスシックスは腎不全でもサイアザイド系利尿薬より強力な利尿作用をもたらしますが、その作用時間は4～5時間と短いためNaの総喪失量はサイアザイドよりもむしろ軽度となり、降圧薬として使用するとしたら一日2回の投薬が必要となります。

## 農薬空容器・不要農薬回収のお知らせ

地域の環境保全や資源の有効利用を進める上で、農薬の適正処理が必要です。

J A 徳島市では、下記のとおり農薬空容器と不要農薬の回収を実施致しますのでご案内申し上げます。

1. 回収場所 : J A 徳島市各営農経済センター  
および各支所・事務所 (八万・加茂名・徳島支所除く)  
※八万・加茂名・徳島支所管内の方は最寄りの営農経済センターもしくは支所・事務所での回収をお願いします。
2. 回収日時 : **令和7年3月11日(火)**  
**午前9時~10時30分**
3. 回収品目 : 金属缶・ポリボトル・ポリ袋・アルミ缶  
アルミ袋・ガラス瓶・紙袋・不要農薬(液)  
不要農薬(粉・粒・水和)
4. 荷 姿 : 市販透明ポリ袋に排出用シール(各回収場所で配布)を貼付けてください。  
不要農薬は、市販透明ポリ袋に入れた上、ダンボール箱に入れ、排出用シールを貼付けてください。  
空容器は必ず「すすぎを3回」してください。
5. 回収料金 : 1kg 当り (端数単位は切上げ)

種 類	回収料金 (税込)
金属缶	330円
紙袋	330円
アルミ缶・アルミ袋	330円
ポリ袋・ポリ瓶	330円
ガラス瓶	330円
不要農薬 (液・粉・粒・水和)	330円

6. 決 済 : 現金または口座引落  
(令和7年3月21日頃口座引落予定)
7. 対 象 : 正・准組合員及び管内当 J A 利用者  
(卸・小売業者は対象外)

※**回収には委任状が必要**となります。

委任状は広報誌に折り込んでいますので、ご記入の上、回収時にご持参下さい。

## 理事会だより(令和7年1月29日)

### 協議事項

- (1) 信用事業方法書(内国為替取引)の一部変更について【可決】
- (2) 信用事業方法書(金融機関等の業務の代理又は媒介)の一部変更について【可決】
- (3) 出資口数の一部減口について【可決】

### 報告事項

- (1) 反社会的勢力との取引排除および疑わしい取引の届出等組織犯罪等の防止にかかる対応状況について
- (2) 事務リスク管理規程に基づく事務ミス等の発生状況・自主検査の結果および改善状況について
- (3) 苦情等の受付対応実績報告について
- (4) ヘルプラインの運用実績について
- (5) 債権回収について
- (6) 第3四半期の余裕金運用状況報告について
- (7) 第4四半期の余裕金運用方針について
- (8) 理事会決議事項処理状況報告
- (9) 再発防止策にかかる12月分の取組について

# 農業者年金

## で老後の生活を安心サポート!



## 加入要件は3つだけ

60歳未満

国民年金  
第一号  
被保険者

年間60日以上  
農業に従事

国民年金保険料納付免除者除く

## 加入のメリット

- 保険料の全額社会保険料控除など、税制面の優遇措置があります
- 終身年金で80歳までに亡くなった場合、死亡一時金がもらえます
- 掛金に運用利益を加えて将来年金として受けとれます

## 保険料額は自由に決められます

1か月からでも加入できます  
通常加入の場合 月額2万円から6万7千円まで千円単位で変更可能ですが  
35歳未満で一定の要件を満たす方は、1万円からでも加入できます

## 農業の担い手には、政策支援(保険料の国庫補助)があります

- 20年の納付
  - 農業所得900万円以下
  - 右記の区分1~5のいずれかに該当する人
- 保険料の国庫補助を受ける期間の保険料は2万円で固定され、加入者が負担する保険料は2万円から国庫補助額を差し引いた金額となります

区分	必要な要件	国庫補助額	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告	10,000円(5割)	6,000円(3割)
2	認定新規就農者で青色申告	10,000円(5割)	6,000円(3割)
3	区分1または区分2のものど家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または後継者(※)	10,000円(5割)	6,000円(3割)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円(3割)	4,000円(2割)
5	35歳まで(25歳未満の場合は10年以内)に区分1の者となることを約束した後継者(※)	6,000円(3割)	-

※後継者:経営者の直系卑属である必要があります

お問い合わせ

詳しくは…



徳島市農業協同組合 各支所

徳島市農業委員会事務局 (TEL: 088-621-5394)

佐那河内村農業委員会事務局 (TEL: 088-679-2115)

## 相談

### ●島田清弁護士<sup>®</sup>の無料法律相談

【日 時】第3土曜日9:00~12:00  
【申込先】金融共済部へ事前に予約が必要  
☎ 088-622-6336  
【場 所】本所1階金融相談室



### ●賀上延啓税理士事務所の無料税務相談

【日 時】3/11(火)、3/18(火)、3/25(火)  
9:30~15:00  
【申込先】総務部へ事前に予約が必要  
☎ 088-622-6335  
【場 所】本所1階金融相談室

